

VMware vRealize Automation

概要

VMware vRealize Suite のコンポーネントである VMware vRealize® Automation™ を使用することで、インフラストラクチャ、コンテナ、アプリケーション、カスタム サービスにわたる IT サービスを迅速にプロビジョニングおよび提供できます。vRealize Automation が提供する拡張可能なフレームワークを利用して、初期のサービス モデル設計から、導入初日のプロビジョニング、それ以降の運用まで、IT リソースのライフサイクル管理を効率化および自動化できるほか、IT サービスの実行環境がプライベート クラウドか、パブリック クラウドか、ハイブリッドクラウドかを問わず、vRealize Automation はマルチベンダー、マルチクラウドのソリューションをサポートするため、サービス提供のスピード、管理性、パフォーマンスが維持されます。

クラウドの俊敏性を活かした IT サービスの提供

ビジネスを成功に導く鍵となるのは俊敏性です。クラウド時代に求められる俊敏性を確保するには、サイロ化された時間のかかる手動プロセスを End-to-End の自動ワークフローに置き換え、IT サービスのプロビジョニングと提供を迅速に行うことが求められます。DevOps を採用し、迅速なアプリケーション開発を目指す企業が増えるに連れて、インフラストラクチャとアプリケーションにわたり、自動的かつ連動するワークフローを組み立てることは不可欠になります。vRealize Automation は、End-to-End の自動化によってプロセスの非効率性を排除し、IT 部門が DevOps 部門のサポートを強化できるよう支援します。

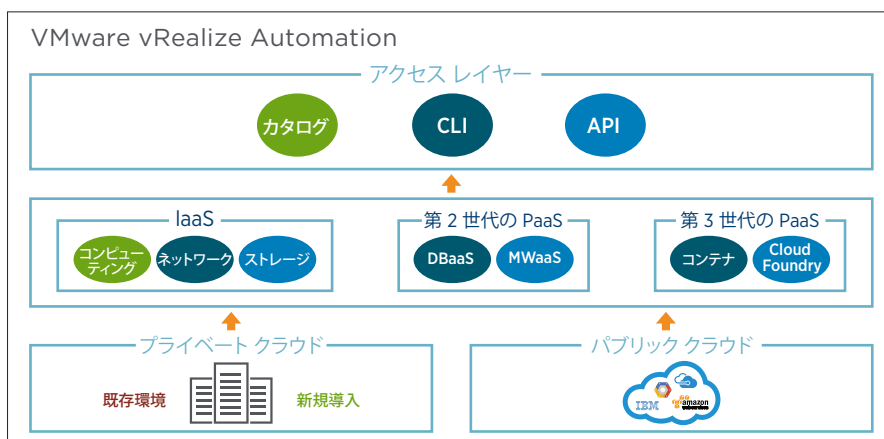


図 1：vRealize Automation でクラウドへの移行プロセスをサポート

VMware vRealize Automation の機能

IT の自動化： VMware vRealize Automation は、ハイブリッドクラウド全体に、導入初日のサービスプロビジョニングと継続的な運用機能を提供し、主要な IT プロセスの自動化、迅速なインフラストラクチャの提供、ハードウェアリソースと人的リソースの両方の最大活用を支援します。

- **サービスデリバリーの自動化：** コンピューティング、ネットワーク、ストレージ、セキュリティのリソースを含むすべてのインフラストラクチャコンポーネントのプロビジョニングを自動化できます。
- **インフラストラクチャのライフサイクル管理：** インフラストラクチャリソースを、単一のソリューションで、最初の展開からサイズ変更、再利用、運用終了など、ライフサイクル全体を通じて管理できます。
- **複数のクラウド間での IT の自動化：** ガバナンスと管理の統合により、オンプレミスとパブリッククラウドの両方でワークロードのプロビジョニングと展開をサポートします。
- **IT エコシステムとの連携：** 幅広い拡張オプションを通じて主要なサードパーティ製ツールと連携し、IT エコシステム全体に自動化を拡張できます。

主なメリット

- **俊敏性**：IT サービス（インフラストラクチャ、コンテナ、アプリケーション、任意のカスタム IT サービス）の提供プロセスを自動化することで、ビジネス ニーズに迅速に対応します。
- **拡張性**：IT エコシステム全体にわたってサードパーティ製ツールと容易に統合することができ、既存および将来のテクノロジーへの投資を有効に活用できます。
- **管理性**：ハイブリッド クラウド環境全体で、ガバナンス ベースのポリシーを IT サービスに組み込むことで、コンプライアンス、パフォーマンス、財務面での成果を実現できます。
- **開発者の選択肢**：開発者が構成要素をセルフサービスで迅速に入手できる環境を提供できます。
- **包括的なライフサイクル管理**：vRealize Suite では、初期の導入から継続的な再調整、運用終了、再利用まで、ワークロード管理を最適化できます。

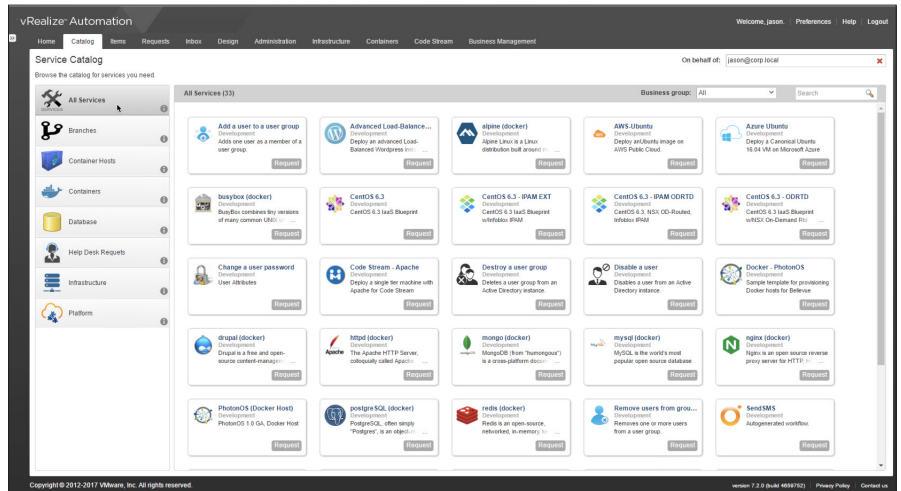


図 2：IT サービス カタログを通じたセルフ サービス機能

開発者向けクラウド：VMware vRealize Automation の充実したセルフ サービス機能を通じて、従来型のアプリケーションやクラウド ネイティブ アプリケーションのリソースへの容易なアクセスを開発者に提供するとともに、使い慣れたツールを使用したいという開発者のニーズにも対応します。

- **サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS)**：開発者がカタログ、API、CLI を通じてインフラストラクチャ サービスに容易にアクセスできるセルフ サービス モデルを実現できます。
- **第 2 世代アプリケーションのサポート**：構成管理ツールを統合するフレームワークにより、特別な設定なしで Puppet と連携でき、第 2 世代アプリケーション スタックの提供と管理が簡素化されます。
- **クラウド ネイティブ アプリケーションのサポート**：VMware vSphere® Integrated Containers™ や Docker をサポートする組み込みのコンテナ管理プラットフォームを通じて、コンテナホストやコンテナを検出、管理できます。このアプローチにより、仮想マシンとコンテナの両方を含む混在モードのアプリケーション ブループリントの設計が可能です。

主な機能

機能	Advanced	Enterprise
統合サービス カタログと API 機能による自動セルフ サービス	○	○
マルチ ベンダーのハイパーバイザー、物理エンドポイント、パブリック クラウドのサポート	○	○
ガバナンスとコンプライアンス ポリシー	○	○
リソースのライフサイクル管理	○	○
リソースの適切なサイジングと再利用	○	○
エコシステム パートナー ツールとの連携のための拡張オプション	○	○
ベンダーとパートナー企業によるブループリント、プラグイン、その他のコンテンツを提供するマーケットプレイス	○	○
サービス カタログの価格自動設定 (vRealize Business for Cloud と連携)	○	○
サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS)	○	○
Anything as a Service (XaaS)	○	○
アプリケーション スタックのプロビジョニングと管理		○
構成管理ツールとのシームレスな連携		○
コンテナ管理		○

VMware vRealize Automation の購入方法

VMware vRealize Automation は、vRealize Suite の Advanced Edition または Enterprise Edition に含まれていますが、単体で購入することも可能です。お客様のニーズに合わせて、vRealize Suite または vRealize Automation のエディションをお選びください。

サポート

VMware は、すべてのお客様に対し、サポートおよびサブスクリプション (SnS) サービスをグローバルに提供しています。さらにご希望のお客様には、導入を開始するうえでのベストプラクティスを提供する、コンサルティングサービスも用意しています。

<http://www.vmware.com/jp/services/>

詳細情報

VMware 製品のご購入または詳細情報については、製品 Web サイトをご覧ください。

<https://www.vmware.com/jp/products/vrealize-automation.html>

製品の仕様およびシステム要件の詳細については、製品のオンライン ドキュメントを参照ください。

セルフ サービス機能の提供

- 統合 IT サービス カタログ：インフラストラクチャ、コンテナ、アプリケーション、カスタムサービスの提供 (XaaS)
- ポリシー ベースのガバナンス機能による、特定のビジネス ニーズに対応する適切なサービスレベルの確保
- 自動化による IT サービス提供の促進

設計キャンバス、コマンドライン、API による統合ブループリント モデル

- ドラッグ アンド ドロップ式のインターフェイスを備えた視覚的なキャンバスを使用して、事前構築されたコンポーネントからアプリケーションを組み立てることによって、IT サービスの設計プロセスを効率化
- コード形式のブループリント：自動化のブループリントをテキストとしてエクスポート、インポート、編集可能
- API：API コールを通じて、包括的な設計と管理を実現
- VMware とパートナー企業が VMware の Cloud Management Marketplace で提供しているブループリントを活用

マルチベンダー、ハイブリッドクラウドインフラストラクチャにわたる展開

- ビジネス ニーズを満たす適切なクラウドのプラットフォームとロケーションの柔軟性
- ハイブリッドクラウド環境全体にわたる一貫したガバナンスと管理性

拡張可能な自動化プラットフォームによる短期間での価値の実現

- 拡張可能なプラットフォームにより、IT エコシステムの複数のレベルでカスタマイズと拡張が可能
- サービスのオーケストレーションを通じて、任意の IT サービスの提供 (XaaS) を設計および自動化
- VMware とパートナー企業が VMware の Cloud Management Marketplace で提供している統合ソリューションを活用

